# あいりん総合センター跡地等　利用イメージ

2020年3月23日
あいりん地域まちづくり会議

「地の利」と「社会的包摂力」のダブルエンジンを活かした
**再チャレンジできるまちづくり**

物語が生まれるまち／多様な「居場所」があるまち
いざという時に強いまち／ないものを生み出すまち etc.

センター跡地等の計画策定における
**2つのエリア**
**3つの要素**
**4つのテーマ**

## 住民の福利・にぎわいエリア

### 要素① 住民の福利

労働やにぎわい機能と相互補完しながら住民への助けや住民に便利な機能を提供する

### 要素② にぎわいの創出

交通至便な「地の利」を活かして出会いと交流の場をつくり，地域に新たなにぎわいを生み出す

## 労働エリア

### 要素③ 労働

労働施設がある強みを生かし、多様な人が安心して暮らせる「社会的包摂力」あるまちを実現する

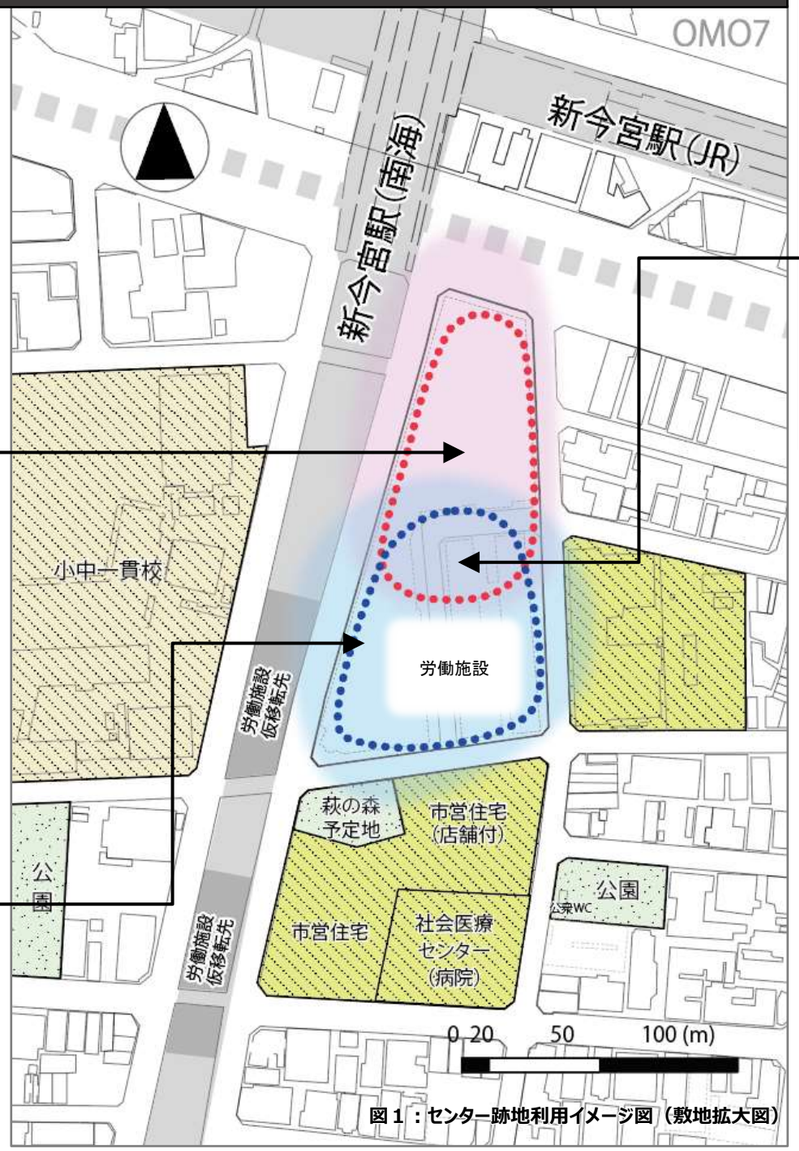


図１：センター跡地利用イメージ図（敷地拡大図）

## センター跡地等における３つの要素に関する地域意見（例）

表１およびp.2.３参照

| | | |
|---|---|---|
| 要素① 住民の福利 | ➢ ワンストップ相談窓口<br>➢ 地域の仕事などを学ぶ場<br>➢ 子どもの居場所と技術体験・交流機能　など | ➢ 防災機能<br>➢ 図書機能（コミュニティライブラリー）<br>➢ アーカイブ・ICT<br>➢ 会議室，コワーキングスペース<br>➢ 緑化・園芸・屋上農園<br>➢ 各テーマに関わるハウジング（周辺地域にて展開）　など |
| 要素② にぎわい創出 | ➢ 多目的に利用可能なオープンスペース（各要素について空間的・機能的に相互利用）<br>➢ 利用しやすくするための設備やしつらえを検討　など | |
| 要素③ 労働 | ➢ 寄場機能・駐車場機能<br>➢ ワンストップ相談窓口／ホームレス就業支援センター<br>➢ 職業訓練・技能講習／利用者の福利厚生機能　など | |

- ３要素で共通する機能をつなぐ理念と仕組みづくり（連携）が重要。とくに２つのエリアが重なる部分は４つの関連会議のアイデアをつなげて実行する場となる（建物が別でも空間・デザイン的にどうつなげるかが鍵）。
- ✧『いざという時に強いまち＋再チャレンジできるまち』のような，このまちにしかできないことをセンター跡地で展開すべきであり，まずはその軸をしっかりと位置付ける。
- ✧ 北側オープンスペースは、誰がどう使うかのイメージ出しが必要であり，時間的な使い分けで多様な人（地元、インバウンド、子ども）が使えるようにすべき（センター跡地は土地を売らずに活用）。
- ✧「住民の福利」を中心に地域意見等に関するセンター跡地等以外の場所での施策化についても検討（下図参照）。

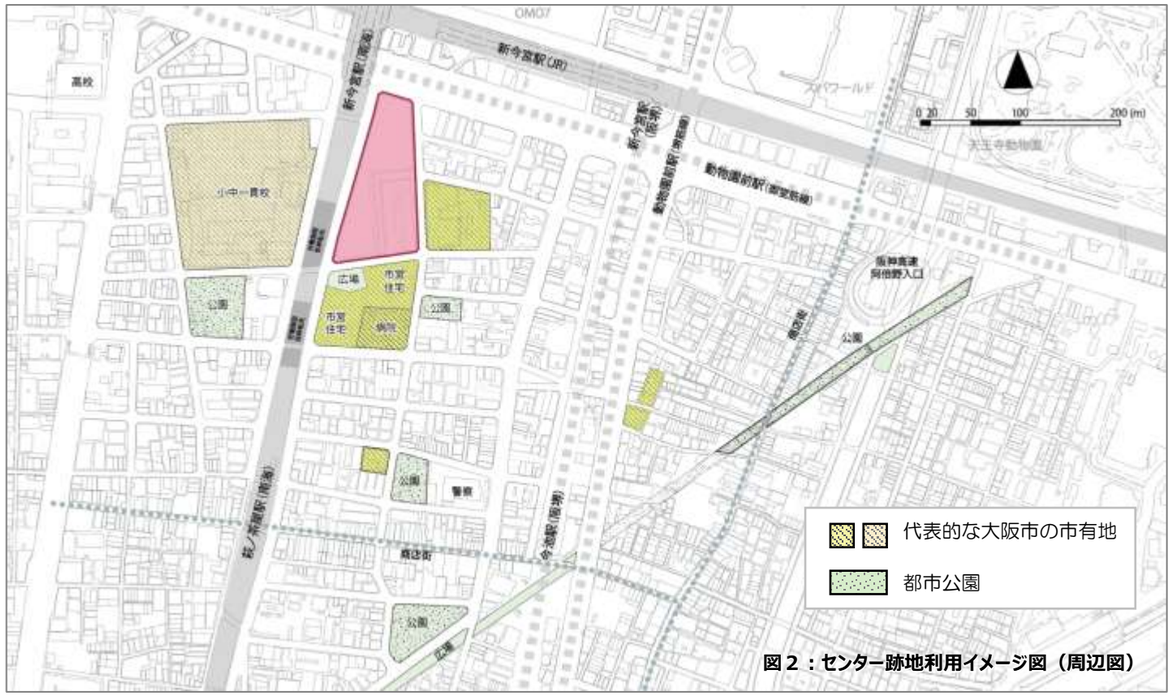


図２：センター跡地利用イメージ図（周辺図）

表１ 西成特区構想関連テーマ別会議まとめ

| テーマ１：こども・子育て関係 | テーマ２：労働施設関係 | テーマ３：就労福祉・健康関係 | テーマ４：駅前活性化・まちづくりハウジング関係 |
|---|---|---|---|
| ①**学年を問わず利用できるこどもの居場所**<br>＜子どもの自己実現を促すチャレンジの場＞<br>②**技術体験ワークショップ交流機能**<br>＜ＩＣＴ等最先端技術やものづくりが体験できるワークショップを備えた，国際交流・世代間交流の場＞<br>③**地域の仕事の見える化と地域学習の連携**<br>＜建設建築・日雇労働を学ぶ区のパイロットエリア＞<br>④**ワンストップ相談窓口**＜こども・子育て，就労福祉，労働相談，就労・生活支援：専門家を配置＞<br>⑤上記機能を促す空間<br>図書施設，コワーキングスペース，園芸・屋上農園など | ①**寄場機能**＜待合機能，高齢化考慮，一体的で自由度が高い空間，一部 24 時間利用可能な開放的なスペースを確保＞<br>②**駐車場機能**＜求人求職活動がスムーズに行われる空間（約 50 台）／屋根付き駐車場：乗車容易な駐車枠＞<br>③**ワンストップ相談窓口**＜高齢者,女性,若者,外国人など多様な相談機能，仕事出し，職場紹介など＞⇒一般ハローワークと連携<br>④**ホームレス就業支援センター**の移設<br>⑤**職業訓練（技能講習）機能+「仕事」の見える化**<br>＜職人の育成や興味づけのための建設・建築トレーニングセンターまたは西成版キッザニア機能＞<br>⑥**利用者の福利厚生機能**＜会議室・シャワー・売店・託児所など＞<br>⑦**オープンスペース**＜防災＋多目的ホール機能＞ | ①**ワンストップ相談窓口の設置**<br>若年就労困難層，障がい者，母子世帯等各ライフステージ対応可能な窓口<br>②**会議室**<br>③**図書施設**・コミュニティライブラリー（全世帯向け）<br>④**コワーキングスペース**<br>各自独立して仕事を行う方々が共有する、事務所・会議室・打ち合わせなどのためのスペース<br>⑤**防災機能** | ①**多様な人が集う多目的オープンスペース**（地域住民，駅利用者，滞在者，労働者，子ども，若者，アーティストなど）共同利用しやすくするための設備やしつらえの検討<br>⇒柔軟な管理運営が必須<br>⇒駅と跡地のつながりをよくする手法を検討<br>（駅前の動向や広域政策，社会の変化にも注視）<br>②**各機能における相互利用**を検討（空間的・機能的）<br>③**コワーキングスペース、図書館（コミュニティライブラリー），アーカイブ**の設置<br>④まちの生活者に対するハウジング（滞留・暫居・定住を意識）<br>⇒**他テーマ関連会議で出されたハウジングの展開** |

2

## 西成特区構想関連テーマ別会議まとめ

西成特区構想関連テーマ別会議＜労働施設検討会議／就労福祉・健康専門部会／こども・子育て専門部会／駅前活性化検討会議及び地域活性化交流・観光、まちづくりハウジング専門部会＞における議論の積み重ねと第１回・第２回ワークショップにおける意見まとめ

＊次頁参照

### こども・子育て専門部会

**① 学年を問わず利用できるこどもの居場所**

（意見）

- 広いスペースは人が集まることにより，世代間交流や国際交流等の場となり，効果的に機能する。

② こどもが自由に遊べる場所。そしてそれはＩＣＴ等最先端技術やものづくりが体験できるワークショップを備えた国際交流や世代間交流の場となることが期待されるものとする。

（意見）

- 利便性の良さを利用したこどもの施設をつくり，良いものは今後区内に波及させる。
- こどもの将来の安定就労につながるよう，中学生くらいのこどもの職業観を広げる場が必要。
- 色んな仕事にアクセスできるよう，最先端だけではなく昔から区内にあるものづくりの技術体験もできれば良い。

**③ ワンストップ型の相談窓口（SWあるいは保健師など専門家を常駐。非常勤で心理士など）**

（意見）

- 親とこどもの居場所やこどもの悩みを相談できるワンストップ窓口が必要
- 統計的に調べた訳ではないが，近年こどもの発達障がいが多いように思われる。発達障がいの専門機関もあればよいのではないか。

**＜その他の意見＞**

- 西成区のこども達の良いところを伸ばすため，シュタイナー、モンテッソーリなどの特殊な教育をする保育園・幼稚園がひとつあっても良いのではないか。
- はじめにすべてを決めてしまうと枠から超えたことができなくなる。あらかじめ厳密な仕様を決めず，動かしながら修正する形式で進め，こどもに合わせ修正が色々出てきたときに，ひとつずつ実現できるようなチャレンジの場所を作るべき。
- 行政だけでは限界があり，本会議のチームのような形式でこどものための事業を作っていく可能性を探っていきたい。
- ＩＣＴの最先端技術が体験できるワークショップは，こどもの職業観を広げつつ西成のイメージアップにもつながるのではないか。

### 労働施設検討会議

**① 寄場機能**

待合場所等も含めてしっかり場所を確保する。

（意見）

- 労働者の高齢化が非常に進む中，暑さ寒さをしのげる寄り場が欲しい。
- 旧センターのようにピロティ形式で素通しのセンター（寄り場）が欲しい。
- 横殴りの雨が来ても濡れない建物自体と一体の寄り場
- 一部開放的な，24 時間使える寄り場。

**② 駐車場機能**

駐車場スペースに関しても求人求職活動がスムーズにいくように広いスペースを確保する。

（意見）

- 労働施設の駐車場は，求人求職のための駐車で，観光バスじゃなく求人車両が原則。
- 求人事業者の車を集めるという発想であれば，５０台くらいあってもいい。
- 屋根のある駐車場にすれば影ができるので，人に対してもやさしく車の暑さ対策もできる。
- １台当たり車の周りに人が集まれる広さが欲しい。

**③ 相談機能**

職業紹介と同じく是非とも絶対必要なもの。職業相談，また多様な人たちもしっかり相談に来てもらえる風な形でしっかりと空間を確保する。

（意見）

- ホームレス就業支援センターを移設して集約し，いろんな相談事に対応できる形を作っていった方が前進になる。（ワンストップ窓口の設置）

**④ 福利厚生機能**

シャワー等々の労働福祉に関しては，雇用促進事業団が廃止された現状では制度に則った設置は難しい。いろんな知恵を絞り，行政の方も柔軟に対応していただき，協力し合って設置していただく方向でお願いしたい。

（意見）

- 娯楽室とテレビ室，将棋スペースなど，前あったものはできるだけ残すということにして欲しい。
- 低額食堂や売店（コンビニ）などが，ここには絶対要る。

**＜その他の意見＞**

- 職業訓練（技能講習）機能強化スペースの確保
- 求人事業者が使える会議室の確保

### 就労福祉・健康専門部会

**① 相談機能を発揮できる場所**

若年の就労困難層，障がい者，母子世帯等も含めたワンストップ相談窓口

（意見）

- 就労困難層には発達障害などの障がいをもつ方が多いように感じられる。
- 労働市場に乗らない若者（従来とは違う層の困窮者）が今後増えていくと思う。
- 「やり直したい人」の相談機能，就労を支えるソーシャルワーク機能の充実が必要。

**② 会議等の実施，住民が集える場所**

（意見）

- いわゆる市民館的機能を具現化するものとして，会議室等のスペースを生み出し，交流や支援の場所等として用いることができるのではないか。

**＜その他の意見＞**

**○ 労働施設との親和性**

- 「労働だけ」「福祉だけ」という単一の資源で支えられている人は意外と少ないため，両者のつながりを意識する必要がある。

**○ 利用者等に着目した検討**

- 「住民の福利」の「住民」のイメージ（施設等の利用者層）を共有しておく必要がある。
- 具体的には，各機能の利用者層について，労働者，元労働者，町会の人，もしくは，広く転入・流入者も含めて，様々な層をイメージすべきである。
- 実際に機能を提供する側の検討も大事。

**○ 利用における柔軟性や可変性**

- ストリート系やボルダリングなど，子ども向けの遊び場や高齢者の健康設備等も考えるべき。
- 「労働」「住民の福利」「にぎわい」の各カテゴリの利用者が，異なったカテゴリを用いることなども予期されるので，広さや目的をカテゴリごとに決め切るのではなく，将来における可変性を持たせておくべき。

### 駅前活性化検討会議及び地域活性化交流・観光専門部会 まちづくりハウジング専門部会

**① ある程度の広さを持った，多様な人が集うオープンスペースを確保したい**

（意見）

- 電気，水道，排水，共同で使える調理場などのインフラを整備しておきたい。
- インフラがあれば，例えば屋台街や道の駅のような活用や，災害時には避難所や炊き出しなどにも利用できるのではないか。

**② 防災設備機能を備えた場所にしたい**

（意見）

- ライフラインの他，マンホールトイレのようなものも整備できれば良い。
- 万が一の時に人が集まれるよう，北側の土地には建物は建てずオープンスペースとして利用することが望ましい。

**③ 小さい雇用を生み出し，外から人を呼び込めるような使い方をしたい**

（意見）

- 固定的に何か大きな物を作ってしまうよりも，オープンスペースを種地にして，小さな雇用を機動的に生み出せるような活用を考える。
- 新今宮駅は電車が多く停まる駅であるため，ターゲットを定めて，オープンスペースを有効活用すれば，必ず人が集まり，にぎわいを生み出せると考えられる。

**④ 地域住民，駅利用者，滞在者など色々な人が利用できる場所にしたい**

（意見）

- 地の利を活かすためには，駅利用者や増えている観光客などが積極的に寄る場所として，地域と一緒ににぎわいを作れるようにしたい。

**＜その他の意見＞**

- 跡地を暫定的にオープンスペースとして有効活用することで，労働者も利用でき過ごしやすく，再チャレンジできる条件を整え，オープンスペースの有効活用で収益を得て，その一部を福利厚生や地域へ回せるような仕組みを提案したい。
- 市民館的な建物が建った場合，にぎわいは，屋根がある部分を交流の場として使わせてもらい福利施設利用者がにぎわい部分を利用するなど，相互の利用が考えられる。
- 近隣は単身者が住むような住宅が多く，周辺に住宅を整備することも考えてはどうか。
- あいりん地域との親和性を確保しながら，地域にもにぎわいを生み，当然地域住民の方も利用できるものが必要。

## 第３回(2020/2/18)ワークショップ（追加意見）

第２回目のワークショップ（図３参照）を受けて実施された西成特区構想関連テーマ別会議のまとめを確認しながら，追加項目や課題等について意見交換した。

### こども・子育て専門部会

・地域の子ども達に地域学習として、建設・日雇い労働のことを学ぶ区のパイロットエリア（労災教育、地域の仕事を含む）
・ひとつずつ実現できるようなチャレンジの場所
⇒勉強が苦手な子にもチャンスある。
・ワンストップ窓口（こども子育て、就労福祉、労働相談、就労支援、生活支援
・図書館，コワーキングスペース，園芸・屋上農園・IT関連の学び強化
・引きこもり傾向のある子も気軽に寄れるようなすてきな場所に！

・居場所（ひきこもり支援）統括するコーディネーター
・専門性必要，引き込もりの専門機関
・地域の人が先生に！地域の方も受け入れる体制必要
・市と府がどう連携とれるかが重要

### 労働施設検討会議

・「仕事」の見える化（ex.建設・建築トレーニングセンター）
・職人育成や興味づけのためのキッザニア的機能
・「ワンストップ窓口の設置」
⇒一般ハローワークと連携
⇒多様な相談機能・仕事出し・職場紹介
（高齢者、女性，若者含む）
・オープンスペース
⇒防災時の活用（ex 炊き出し）
・多目的に使えるホール（広い空間）
・就職活動時の託児所
・外国人労働者も安心して働けるためのサポート，語学訓練
・生活サポート
（シェアハウスやサポーティブハウス）
・府と市がどう連携とれるかが重要

### 就労福祉・健康専門部会

・世代をこえた各ライフステージで考える
・子育ち、子育て→相互支援
・就労→子ども達も職業体験
・介護、高齢者のいこい、包括支援コーディネーターの確保も
・相談対応の基本は高齢者を基本に
・困難層へのアプローチ
・本当の意味での「包括」支援ができるようにコーディネート機能が重要
→沖縄のグッジョブセンター

・防災のための空間や機能
・図書館、コワーキングスペース
・区民センター移設
・住民同士の相互支援ができるように
・図書館は全世代型
・不安定就労の若者たちのハウジング

### 駅前活性化検討会議及び地域活性化交流・観光専門部会 まちづくりハウジング専門部会

・３つの要素をつなぐ理念と仕組みが重要。２つのエリアの重なり部分は，４部会で出たアイデアをつなげて実行する大事な場所。
・このまちにしかできないことを。まずその軸をしっかりと位置付ける（売却しない）。
・誰のためのにぎわいなのか。そこが重要
→ただ単に、通りすがりの旅行者？金持ってる人のためだけ
センター跡地、誰のために使うのか？
・北側オープンスペースは、誰がどう使うかのイメージ出しが必要。箱物を別に建てる場合も、空間・デザイン的にどうつなげるか。
⇒時間的な使い分けで、多様な人（地元、インバウンド、子ども）が使える
・このまちにしかできないことをセンター跡地で展開すべき
・コワーキングスペース、アーカイブ、図書館、コミュニティライブラリー
・定住者を増やす魅力的にぎわいを
・新しい動向（新なにわ筋線開通、新今宮北側浪速区側の変化）をどう捉えるのか？それを西成のこれからにどう活用するのか。
・駅とセンター跡地のつながりをよくしてほしい
・新今宮駅の形変わるとき，たくさんの人をどう南側、43 号以南に呼び込むのか？高架デッキでつなぐなどの可能性を検証

【参考】本計画イメージは，各種関連会議やテーマの横断的検討（横串化）が必要であるとの議論から実施された ３ 回のワークショップ<事務局：西成区>と各種関係会議の議論をまとめたものである。右図は，第１・２回でまとめられた意見の整理図である。

## 第１回（2019/9/7）・第２回（2019/9/30）ワークショップ

■第 １ 回ワークショップでは，有識者から大阪市や西成区，そしてあいりん地域に関する人口動態や予測，そして駅前周辺の動きや周辺環境の変化について有識者からのレクチャーを受けた。

その後，これまで議論されてきた跡地活用に関する内容や機能について確認しながら，追加すべき課題や項目，機能について議論を深めていただいた。<棚卸作業>

■第２回目は，第１回目で出された項目を，３ つの要素（にぎわい創出・住民の福利・労働機能）で整理し，各専門部会で検討するための機能等について整理した。

とくに，各要素間で関連する項目の整理や空間・システムの分類ができたことで，各部局やテーマを横串化することができた。

<横串化作業>　＊図３参照

**第２回のテーマ項目**

①人口は増えてほしい？（このままでは人口減／高齢化進展後に減少傾向）
・定住者・来住者・流動層⇒滞留・暫住・定住のグラデーションを受け止める？
・訪れる人・交流人口を増やして定住を促す？
しんどい人が居続けられる・干渉されずに暮らせる　など
②どんな人が住むまち・訪れてほしいまち？（対象者のイメージは？）
労働者／子育て層／外国人／留学生／労働者／商業・店舗関係／若者／学生／しんどい状態の人／分譲マンション世帯／起業したい人／アーティスト／偏らずにいろんな世帯 など
③駅前のイメージ（賑わい交流・住む場所・社会的包摂のバランス）
駅前に住む場所を増やす？／周辺の空き家等を住めるように？／新しいマンションを建てる？／商業やにぎわい事業でまちに雇用を生みだす？／労働者が使いやすい機能を？など
〇利用における柔軟性や可変性

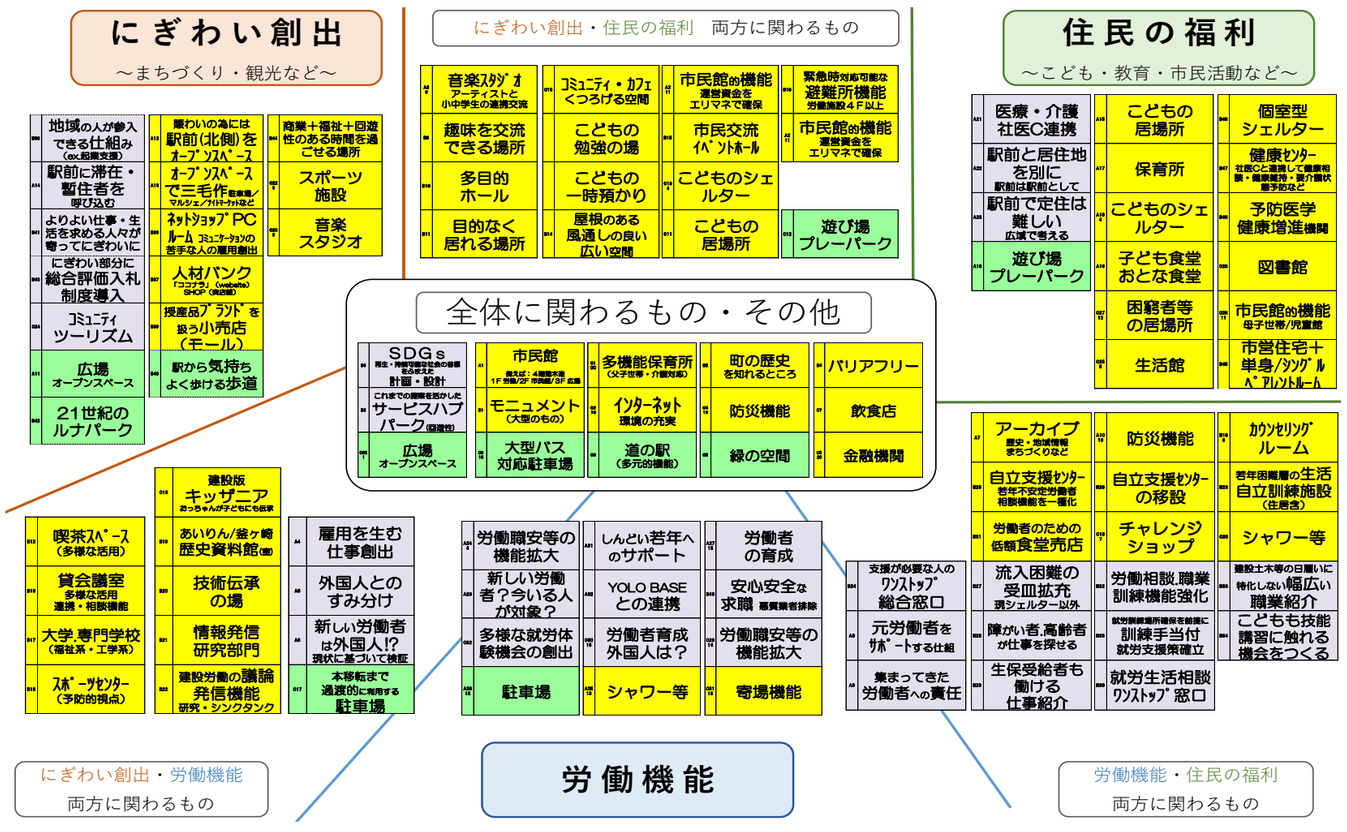


図３：センター跡地利用意見の整理図

## ■工事のスケジュールイメージ

※想定スケジュールであり、決定事項では在りません。さまざまな要因によって変動します。

| | 年度 | ～2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あいりん総合センター構成施設 | 市営萩之茶屋第1住宅 | | 移転 | | | | | | | |
| | 大阪社会医療センター付属病院 | | （新）社会医療センター建設工事 | 移転 | あいりん総合センター解体 | | | | | |
| | あいりん労働福祉センター | 外部仮移転 | | 基本計画 | センター・第2住宅跡地全体利用計画案 策定 | ＜ 本移転施設の整備スケジュールイメージ＞ 基本設計 | 実施設計 | 建設工事 | 本移転施設の供用 | |
| | | | | | | 労働施設検討会議で議論 | | | | |
| | その他利用【にぎわい】 | | 基本的な計画の検討・立案等 | | | 具体的な計画の検討・立案等 | | | 具体的な用途への整備・供用 | |
| | | | | | | 駅前活性化検討会議等で議論 | | | | |
| | その他利用【住民の福利】 | | 基本的な計画の検討・立案等 | | | 具体的な計画の検討・立案等 | | | 具体的な用途への整備・供用 | |
| | | | エリアマネジメント協議会 | | | 就労福祉・健康専門部会やこども・子育て専門部会等で議論 | | | | |
| | 市営萩之茶屋第2住宅 | | （新）萩之茶屋第2住宅建設工事 | | 移転 | 第2住宅解体 | | | | |